

平成 16 年度業務報告

ライテンゼールは、平成 16 年 12 月 31 日第 3 期決算を、計画通りの業績で終わることができました。平成 16 年度は、収益の順調な成長に加え、総資産およびキャッシュフローも増加しました。

平成 16 年度、当社は、外国為替市場におけるマーケットシェア獲得を目指す戦略の選択により、資源を付加価値の高いサービス提供とカスタマーサービス向上に注力しました。この企業戦略により、有形資産の増加に成果を求めるだけでなく、能率的な企業統治と専門的準拠性業務を推進したことで、当社は極めて高い評価を獲得することができました。また、当社は、確固たる顧客基盤の構築とさらにもっと身近な顧客サービスを提供するため、新たに飯田橋（東京）および名古屋にカスタマーサービスセンターを開設しました。

わたしたちは、当社の基本理念に基づき、金融庁による新たな法律が施行される平成 17 年度において、ライテンゼールは公正で無駄のないスリム化した競争力のある企業になると強く考えています。

平成 17 年 3 月
代表取締役社長
林 連坤

財務情報
貸借対照表

ライテンゼール株式会社
平成 16 年 12 月 31 日現在 [単位：円]

資産の部		負債及び資本の部	
現金及び預金	338,544,577	流動負債	724,379,703
未決済資金勘定	423,500,329	資本金	40,000,000
流動資産の部合計	762,044,906	利益剰余金	15,943,048
固定資産	18,277,845	資本の部合計	55,943,048
資産合計	780,322,751	負債及び資本合計	780,322,751